

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 25 日現在

機関番号：64303

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～2013

課題番号：22510280

研究課題名(和文) アフリカ半乾燥地域社会の複合的「なりわい」とその現代的特質に関する研究

研究課題名(英文) A study on complex livelihood and its contemporary characteristics in African semi arid land

研究代表者

石山 俊 (ISHIYAMA, Shun)

総合地球環境学研究所・研究部・プロジェクト研究員

研究者番号：10508865

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円、(間接経費) 1,050,000円

研究成果の概要(和文)：アフリカ半乾燥地特有の、激しい気候変動下で営まれてきた、農耕民のなりわいとその現代的な特徴を考察することが本研究の目的であった。

3回の現地調査、および文献調査の結果、アフリカ、サハラ南縁の半乾燥地農耕民社会において、生業の多様化が進んでいることが明らかになった。生業の多様化とは、ヤギを中心とした家畜飼育、金鉱への出稼ぎ労働、乾季における小規模な淡水漁労活動である。

中でも家畜飼育は、この地域の干ばつ傾向が始まった1970年代頃より導入され、その背景には干ばつに起因する牧畜民の南下があることが明らかになった。

研究成果の概要(英文)：This study aims to investigate complex livelihood and its contemporary characteristics under variable climatic conditions of African semi arid land.

As a result of field survey and literature search, diversification of livelihood was confirmed. Diversification livelihoods means mainly, introduction of animal feeding, wage earning by gold mining and fishery in dry season at ponds and seasonal rivers.

Introduction of animal feeding is a result of southward migration of pastoralists which had started since 1970s because of drought.

研究分野：総合人文社会

科研費の分科・細目：地域研究

キーワード：砂漠化 気候変動 なりわい エコトーン 農耕民による家畜飼育 牧畜民の南下 グルマンチェ

1. 研究開始当初の背景

アフリカ、サハラ南縁半乾燥地は砂漠化の影響がもっとも深刻な地域のひとつである(UNEP1997)。砂漠化問題においては、過耕作、過放牧、過伐採という3点が人為的要因として重要視される。こうした「行き過ぎた人間活動」が引き起こす土地劣化が砂漠化であると一般的には理解され(UNCCD1994)、それゆえ土地に与えるインパクトを抑制する、総合土地管理技術などの技術的対処が砂漠化対処の重要な戦略となってきた。しかし新技術の移転による砂漠化対処活動が成功した例は稀で、地域の在来知の重要性が見直されるようになった(UNCCD 2005)。他方、アフリカ乾燥地、半乾燥地の農耕社会、牧畜社会、漁撈社会の生業と在来知に関する多数の個別研究がなされてきた。これらの研究の成果として、自然資源の利用と管理に対する在来知の有効性が明らかにされてきたが、人々の営みは砂漠化問題の中では、反対に土地劣化を助長するものとして位置づけられてしまう。

2. 研究の目的

砂漠化の深刻な影響下にあるアフリカ、サハラ南縁の半乾燥地域では、穀物農業が人々の生計を支える重要な手段である。しかし、降雨量変動が大きいこの地域での穀物生産量は非常に不安定なものであり、牧畜や乾季の現金労働が穀物収穫の不安定性を補う重要な手段となっている。ところが、これらの営みは、砂漠化問題の中では、「過耕作」、「過放牧」として重要な人為的要因という枠に閉じ込められてしまう。本研究の目的は、人々の複合的生業手段を「なりわい」の視点、すなわち生業を定量的視点のみからではなく、それを選択する個々の「生き方」を踏まえた定性的視点を加えた両面からの考察を通じて人間活動と自然の関係を実証的に明らかにすることにある。

3. 研究の方法

本研究の調査地は、年雨量300-800mmのサハラ南縁半乾燥地域を主な現地調査対象地とする。現地調査は平成22年度から24年度にかけて3回おこなう予定である。文献・資料の調査も同時に進めていく。GIS情報なども可能な限り使用する。

現地調査では、穀物農業、牧畜、現金労働を中心におこなうが、調査地近辺でおこなわれるマメ類、野菜類栽培農業、漁撈についても可能な限りデータを収集する。

文献・資料調査では、アフリカ半乾燥地を中心とする「なりわい」、水分環境、環境変動に関する資料、歴史資料を中心に社会変動を主に考察する。

以上の調査によってサハラ南縁半乾燥地の複合的「なりわい」およびその現代的特性を解明できると考える。

4. 研究成果

アフリカ半乾燥地特有の、激しい気候変動下で営まれてきた、農耕民のなりわいとその現代的な特徴を考察することが本研究の目的であった。

3回の現地調査、および文献調査の結果、アフリカ、サハラ南縁の半乾燥地農耕民社会において、生業の多様化が進んでいることが明らかになった。生業の多様化とは、ヤギを中心とした家畜飼育、金鉱への出稼ぎ労働、乾季における小規模な淡水漁労活動である。中でも家畜飼育は、この地域の干ばつ傾向が始まった1970年代頃より導入され、その背景には干ばつに起因する牧畜民の南下があることが明らかになった。

また、かつて存在していた牧畜民との関係は、最近30-40年でかなり希薄になったことが明らかになった。その理由は、干ばつに起因すると思われる牧畜民の南下をあげることができる。それ以前はまれに家畜を保有する農耕民は牧畜民に家畜を預託していたが、牧畜民の南下によって、預託先の喪失したこと、干ばつによる牧畜民の家畜飼養頭数の低下がその原因であると考えられる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計4件)

1) Hyungjun LEE, 安田裕, Mohamed Ahmed Mohamed ABD ELBASIT, 石山俊, 縄田浩志 2014年01月 ナイル川中流域ガダーリフの降雨量時系列. 水文・水資源学会誌 27(1):29-33. (査読付).

2) 石山俊 2013年09月 不安定な降雨変動下のアフリカ半乾燥地農民の多様な生業 ブルキナファソ北東部、穀物農耕民グルマンチエの事例. 沙漠研究 23(2):67-71. (査読付).

3) Ishiyama, S. 2012,03 Human mobility in the drylands of sub-Saharan Africa: The southward migration of the Kanembu and drought in the Lake Chad region. AFRO-EURASIAN Inner Dry Land Civilisation 1:85-97. (査読付).

4) Ishiyama, S. 2010,06 Déforestation et foyer amélioré au sub-Sahara -Efficacité sous les conditions pratiques dans les ménages. 日本中東学会 26(1):186-213. (フランス語) (査読付).

[学会発表](計6件)

1) 石山俊 不安定な降雨変動状況下におけるサヘル農耕民のなりわい. 日本沙漠学会沙漠誌分科会, 2012年12月08日, 京都市北区総合地球環境学研究所. (本人発表).

2)石山俊 サハラ南縁における環境 NGO と住民のインタラクティブな関係. 国際開発学会第 22 回学術大会, 2011 年 11 月 26 日-2011 年 11 月 27 日, 愛知県名古屋市名古屋大学. (本人発表).

3)石山俊 サハラ南縁半乾燥地の穀物農業と家畜 -ブルキナ・ファソ北東部穀物農耕民グルマンチェの事例から. 日本アフリカ学会第 48 回学術大会, 2011 年 05 月 21 日-2011 年 05 月 22 日, 青森県弘前市弘前大学. (本人発表).

4) 石山 俊 Savanna Culture and Oasis Culture. 50th Anniversary of Africa Nation States as Renaissance The 2nd International Symposium AA Science Platform Program Religious Dynamics of Contemporary Africa Concerning the destruction of Traditional Life Mode and New Religious Movement, 2010 年 12 月 13 日-2010 年 12 月 15 日, 名古屋大学, 愛知県名古屋市千種区.

5)Ishiyama, S. *Human mobility in the Sub-Saharan arid land:Southward Migration of Kanemubu and drought in Lake Chad region.* The 16th International Congress of IUAES, 2009,07,27-2009,07,31, Yunnan University, Kunming, China. (本人発表).

6)Ishiyama, S. *Reevaluation on human mobility of the Sub-Saharan arid land: Southward Migration of Kanemubu and drought in Lake Chad region.* Afro-Eurasia Civilizations: The 1st International Workshop, 2009,07,18-2009,07,20, Nagoya University, Aichi, Japan. (本人発表).

〔図書〕(計 5 件)

1)石山俊 2013 年 04 月 環境変動となりわい動態 アフリカ半乾燥地の農耕民グルマンチェ. 佐藤洋一郎、谷口真人編 イエローベルトの環境史 サヘルからシルクロードへ. 地球研 文明環境史シリーズ. 弘文堂, 東京都千代田区, pp.98-111.

2)Shun ISHIYAMA 2013,03 Deforestation and improving in sub-Saharan cooking stoves:Effectiveness under practical condition in households.. Hiroshi NAWATA・Shun ISHIYAMA, Ryo NAKAMURA (ed.) Exploitation and Conservation of Middle East Tree Resources in the Oil Era.. Arab Subsistence Monograph Series., Volume 1. Shokadoh Book Sellers, Kamigyo-ku, Kyoto, Japan, pp.75-101.

3)Shun Ishiyama 2013,03 Déforestation et

foyer amélioré au sub-Sahara: Efficacité sous les conditions pratiques dans les ménages. Hiroshi NAWATA・Shun ISHIYAMA, Ryo NAKAMURA (ed.) Exploitation and Conservation of Middle East Tree Resources in the Oil Era.. Arab Subsistence Monograph Series, Volume 1. Shokadoh Book Sellers, Kamigyo-ku, Kyoto, Japan. DOI:75. (フランス語)

4)Shun ISHIYAMA 2013,03 Deforestation and improving cooking stoves in sub-Sahara: Effectiveness under practical condition in households. Hiroshi NAWATA・Shun ISHIYAMA, Ryo NAKAMURA (ed.) Exploitation and Conservation of Middle East Tree Resources in the Oil Era. Arab Subsistence Monograph Series, Volume 1.. Shokadoh Book Sellers, Kamigyo-ku, Kyoto, Japan, pp.75-91. (その他) in Arabic

5)石山俊 2012 年 11 月 アベシエ、アムティマン、シャリ川、チャド湖、ティベスティ山地、バルエルガザル川、バルダイ、ファヤラルジョウ、ワッダイ州. 竹内啓一総編集編 世界地名大事典 3 中東・アフリカ. 朝倉書店, 東京都新宿区, pp.59, 63, 493-494, 607-608,632, 782-783, 785, 823, 1127,.

〔産業財産権〕
出願状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織
(1)研究代表者
石山俊 (ISHIYAMA Shun) 総合地球環境学研究所 研究部 プロジェクト研究員

研究者番号: 10508865

(2)研究分担者 ()

研究者番号：

(3)連携研究者 ()

研究者番号：